

春季彼岸法要のつし案内

厳寒の時節から日ごとに春の温かさを感じるこの頃と共に、花粉症対策が絶対必要な時期となりました。皆さまには、いかがお過ごしでしょうか。

彼岸とは、私たちの住む世界（此岸）から見て煩惱や欲望を乗り越えた「さとりの世界」。阿弥陀仏さまや今は亡き大切な方へご先祖さまのおられる極楽浄土を表す言葉。日常生活の忙しさに追われ、お浄土への思いが薄れてしまいがちな私たちにとって、法要会参列や墓参りは、阿弥陀仏さまと亡き方に想いを寄せる大切なひと時です。

当日参拝できないお方は、同封の振込用紙に回向名（〇〇家先祖代々または戒名）を記入してお送りください。丁重にご回向いたします。また、ご参詣いただきました皆さまには、春彼岸法要の功德を受けられ、健康とご安寧を祈念いたし、お説教から生まれた落語にご堪能いただけますようご案内申し上げます。

日時 三月二十二日（日曜日）

午後一時 お彼岸法要へご先祖へ供養

午後二時十五分より 落語寄席

演目 ときやば 動物ものまね



お招きしている噺家は

初音家左橋（はつねや ささきよう）師匠です。

◆プロフィール◆

1979(昭和54年)06月
1980(昭和55年)06月
1982(昭和57年)10月
1983(昭和58年)03月
1995(平成7年)03月

十代目金原亭馬生に入門
前座となる 前座名「小駒」
馬生没後、伯楽門下へ
二ツ目昇進
真打昇進 初代「初音家左橋」と改名



檀信徒各位

良雲山 長性院